

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公表番号】特表 2003-512194 (P2003-512194A)

【公表日】平成 15 年 4 月 2 日 (2003.4.2)

【出願番号】特願 2000-612138 (P2000-612138)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

C 0 8 J 9/42 (2006.01)

C 0 8 K 9/00 (2006.01)

C 0 8 L 33/14 (2006.01)

C 0 8 L 39/06 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

C 0 8 L 33/02 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

C 0 8 J 9/42 C E R

C 0 8 J 9/42 C E Y

C 0 8 K 9/00

C 0 8 L 33/14

C 0 8 L 39/06

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

C 0 8 L 33/14

C 0 8 L 39:06

C 0 8 L 33:02

C 0 8 L 39/06

C 0 8 L 33:14

C 0 8 L 33:02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 13 日 (2007.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 多孔質膜と、第四アミン官能基を有すると共に水に全く可溶であるポリマーを含む着色インク用の多段移行抑制剤と、を含むインクジェットレセプター媒体。

【請求項 2】 前記ポリマーは、式 P (X / Y / Z)
(式中、X はピロリドン含有重合済みモノマーであり、Y は酸含有重合済みモノマーであり、Z は第四アミン含有重合済みモノマーである。) を有する、請求項 1 に記載のインクジェットレセプター媒体。

【請求項 3】 前記 X モノマーの量は全ポリマーの 3 0 重量 % ~ 6 6 重量 % の範囲であり、

前記 Y モノマーの量は全ポリマーの 1 0 重量 % ~ 3 2 重量 % の範囲であり、

前記 Z モノマーの量は全ポリマーの 2 重量 % ~ 5 0 重量 % の範囲である、

請求項 2 に記載のインクジェットレセプター媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

日本国特開昭 61 - 041585 号公報には、一定比の PVA / PVP を用いる印刷材料を製造する方法が開示されている。その欠点は不適切な耐水性および水研ぎ落とし特性である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

日本国特開昭 61 - 261089 号公報には、PVA / PVP の混合物に加えてカチオン導電性樹脂を用いる透明材料が開示されている。この材料は、耐水性で耐汚染性であるが、水研ぎ落とし特性は劣っている。